

2025年度10月期ハイキング「野火止用水と平林寺」の報告

実施担当：福祉環境科

2025年10月3日(金)、埼玉県新座市の野火止用水と平林寺周辺を散策して来ました。暑さも落ち着き、絶好のハイキング日和となり、武蔵野の秋の気配を楽しんできました。10時30分に新座駅改札口に集合し、ミーティング後10時35分に参加者11名でスタートしました。



朝のミーティング



10時35分新座駅を出発



野火止用水に向かう「ふるさと小道」を歩くメンバーと、庭先で見つけた黄色の曼珠沙華



10時50分新座農産物直売センターで買い物と休憩をする



道端に「秋の七草」の萩が可憐に咲いていました



野火止用水は多くが雑草で覆われ流れは良く見えなかった。

野火止用水：野火止台地開拓者の大切な飲料水として承応 4(1655)年に、川越藩主であった松平伊豆守信綱が玉川上水から分水したもので全長は約 24 km。



野火止用水沿いの遊歩道を歩く。道沿いの畠には「秋の味覚」の栗がたわわに実り、いまにもはじけそうに開いていた



11時50分昼食場所の「竹映」に到着し、思い思いの昼食をとる





12時40分「睡足軒の森」に到着し、「睡足軒」等を見学する。

睡足軒：江戸中～後期の飛騨地方の建造物で、昭和13年(1938)実業家の松永安左エ門が別邸の敷地内に移築し、安左エ門死後、敷地ごと平林寺に移管された。



13時平林寺に到着

平林寺：平林寺は室町時代に岩槻に創建され、江戸時代に川越藩の隆盛とともに現在の野火止に移転した。幕府老中であり川越藩主を務め、その才知から「知恵伊豆」と称せられた松平伊豆守信綱の菩提樹で広大な境内は禅の修行道場になっている。

平林寺境内林は、広さ43ha、東京ドーム9個分の広さで、武藏野の雑木林の風情をとどめる貴重な文化財として、昭和43年(1968)雑木林としては唯一の国の天然記念物に指定された

平林寺山門前で集合写真



平林寺境内を散策する



松平信綱夫妻の墓

周囲には信綱直系の大河内松平家及び傍系三家を一同に 170 基余りを供養する廟所が集まっていた



平林寺境内で休憩

秋の訪れを感じさせる涼やかな秋風が心地よかったです



平林寺の広さを思わせる石塀が奥深く続いている



15 時 予定通り新座駅に到着し、挨拶後解散となる

今回は想定していた以上に歩行距離が長く大変お疲れ様でした。

当初計画は所沢の航空記念公園周辺を予定していましたが、メインの航空発祥記念館が改修工事のため見学出来ないとの事で急遽変更しましたが、10 年前のコースと重複し、二度目の人もいるとのことで、申し訳ございませんでした。

猛暑もやっと落ち着き絶好のハイキング日和の中、武藏野の秋を感じる事が出来たのではないでしょうか。

次回(11月7日)は「磯部温泉まちなか歩き」です。気候の変動が激しい時期ですが体調に留意して元気に参加しましょう。実施担当のふるさと伝承科の皆さんよろしくお願ひします。

記： 笹沢